

教員免許状更新講習開設講習内容・申込状況一覧

11月17日(金)15:00現在

八戸学院大学・八戸学院大学短期大学部

[申込状況記号説明] ◎…十分余裕あり(募集人数の50%未満)、○…空あり(募集人数の50%以上80%未満)、▲…締切間近(募集人数の80%以上100%未満)、×…申込締切

※キャンセル等により、申込状況は×から▲、▲から○へ変わる可能性があります。

《必修領域(大学)》

募集期間 : 平成29年11月16日～12月7日

時間数:6時間

受講料:6,000円

| 講習番号 | 開設講習名 | 講習概要 | 担当講師 | 開設日 | 対象職種 | 対象者 | 募集人数 | 申込状況 |
|------|-------------|---|--|--------|--------------------|-----|------|------|
| C-02 | 【必修】教育の最新事情 | 学校現場の実態を踏まえながら、受講者のニーズに対応すべく、中学校校長経験者を含む教育学、幼児教育学、心理学を専門とする講師が担当する。学校を巡る諸問題、期待される教師像、子どもの発達に関する最近の知見やLD・ADHD等の特別支援教育、カウンセリングマインド等について理解を図る。 | 杉山 幸子 (健康医療学部非常勤講師、八戸学院大学短期大学部幼児保育学科教授) 小野寺 實 (ビジネス学部非常勤講師) 瀧澤 志穂 (健康医療学部非常勤講師) | 12月25日 | 教諭 養護教諭 栄養教諭 | 全教員 | 200 | ▲ |

《選択必修領域(大学)》

募集期間 : 平成29年11月16日～12月7日

時間数:6時間

受講料:6,000円

| 講習番号 | 開設講習名 | 講習概要 | 担当講師 | 開設日 | 主な受講対象者 | | | 募集人数 | 申込状況 |
|------|--------------------------------------|--|----------------------|--------|-------------------------------------|----------|-------|------|------|
| | | | | | 学校種 | 免許職種・教科等 | 職務経験等 | | |
| K-05 | 【選択必修】学習指導要領の改訂の動向並びに法令改正及び国の審議会の状況等 | 本講習では、平成元年以降の学習指導要領改訂の趣旨やねらい、及び現在までの教育改革の動向について理解を深めること、また、関連する法令の改正、及び国の審議会の状況等について理解を深めることを目的とし、講義を行う。 | 小林 喜輝 (健康医療学部教授) | 12月24日 | 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校 | 特定しない | 特定しない | 50 | ○ |
| K-06 | 【選択必修】学校を巡る状況の変化と学校における危機管理 | 学校や教育に対する保護者や社会からの評価・要求が厳しいものとなっている。近年のこのような状況を理解し、これからの学校や教員としてのあり方を考える契機とする。また、災害発生時における児童生徒の安全や安心の確保、危機管理や命の尊さなどが、学校教育のみならず社会問題となっている。近年のこのような状況を踏まえて、個々の教員として、または組織としての対応方法について考える。 | 根城 隆幸 (ビジネス学部教授) | 12月24日 | 幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校 | 特定しない | 特定しない | 50 | × |
| K-07 | 【選択必修】教育相談(いじめ・不登校への対応を含む) | 今日、多様化する社会の動きの中で、児童・生徒は学校や家庭のほかあらゆる場面において多くの問題を抱えている。これらの解決や予防のため、今まで以上に学校での教育相談の必要性が問われている。本講習では、先生方の経験を活かし、さらに学校における教育相談の担い手としての役割を理解し、問題行動の理解と具体的な解決策・予防法、保護者との連携、相談システム、専門機関との連携等について学び、学校における「教育相談」の意義を多角的に検討する。また教育活動の本質を学際的アプローチで考察し、教員としての視野を広め、児童・生徒が充実した生活を送るための力量を高める学びの機会創出を目的とする。 | 鈴木 俊裕 (ビジネス学部教授) | 12月24日 | 幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校 | 特定しない | 特定しない | 50 | × |
| K-08 | 【選択必修】キャリア教育の意義とその推進 | キャリア教育に関して、学校現場の実態を踏まえながら、受講者の要望に対しその益に供すべく、演習を取り入れながら理解の深化を図る。特に、その意義や背景、生きる力や進路指導との関連性、小中高大での連携や家庭・地域との連携、キャリアデザインと生涯学習社会、生きることと働くこと、自校の3年後のありたい姿と現場での具体的な実践活動、また、キャリア教育の推進と課題などの観点から理解を図る。 | 柴垣 博孝 (ビジネス学部准教授) | 12月24日 | 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校 | 特定しない | 特定しない | 50 | ○ |

《選択領域(大学)》

募集期間 : 平成29年11月16日～12月7日

時間数:6時間

受講料:6,000円

| 講習番号 | 開設講習名 | 講習概要 | 担当講師 | 開設日 | 対象職種 | 主な受講対象者 | 募集人数 | 申込状況 |
|------|---------------------------|--|--|--------|------------|--------------------------------|------|------|
| S-21 | 【選択】健康科学 | 講義は環境保健、成人保健、精神保健よりなります。環境保健では生活の場における身近な環境と健康の係わり、特に生活環境の変化による疾病の発症について、成人保健では現代社会において重要な健康課題となっている生活習慣病について、精神保健では小中高等学校における心の健康づくり(特にリストカットや自殺とその対応)について考えます。 | 吉田 稔(健康医療学部教授) 瀧澤 透(健康医療学部教授) 田名部 麻野(健康医療学部講師) | 12月26日 | 教諭 養護教諭 | 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭向け、養護教諭向け | 60 | ▲ |
| S-22 | 【選択】教育現場におけるICT(情報通信技術)活用 | 今日、教育現場においても、教員によるICT(情報通信技術)活用が不可欠となっています。本講習では、児童・生徒の成績・健康管理や教材・学級だより・保健室だより等の作成にパソコンを活用するためのデータ分析・グラフ作成手法について、基本的なPCの操作(キーボードによる日本語入力・マウス操作など)ができる方を対象に、講義・演習を行います。また、インターネットを安全に活用するためのネットワーク運用管理やソーシャルメディア利用の注意点についても講義を行います。 | 村本 卓(ビジネス学部教授) 坂本 貴博(ビジネス学部教授) 田村 正文(ビジネス学部准教授) 馬場 祥次(健康医療学部非常勤講師、八戸学院大学短期大学部ライフデザイン学科教授) | 12月26日 | 教諭 養護教諭 | 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭向け、養護教諭向け | 50 | ○ |
| S-23 | 【選択】教育現場におけるICT(情報通信技術)活用 | (講習番号S-22と同じ内容です。) | 村本 卓(ビジネス学部教授) 坂本 貴博(ビジネス学部教授) 田村 正文(ビジネス学部准教授) 馬場 祥次(健康医療学部非常勤講師、八戸学院大学短期大学部ライフデザイン学科教授) | 12月27日 | 教諭 養護教諭 | 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭向け、養護教諭向け | 50 | ○ |
| S-24 | 【選択】手軽にできる「タグラグビー」の実践的指導 | 子どもたちの運動能力・体力の低下、運動が苦手な子どもの増加に伴い、小学校でのボールゲームに参加できない子どもたちが今後も増えていくと考えられます。また現在では、普段運動をする子としない子の「二極化」により、小学校等におけるボールゲームの授業づくりを難しいものになっています。このような問題に対し、本講義では、小学校低学年・中学年・高学年と年代に合わせたタグラグビー指導のための知識を身につけ、実技体験をすることにより、体育の授業として計画・立案する方法を学びます。 | 工藤 祐太郎(健康医療学部助教) | 12月27日 | 教諭 | 小学校・特別支援学校教諭向け | 40 | ○ |

《選択領域(短大)》

募集期間 : 平成29年11月16日～12月7日

時間数:6時間

受講料:6,000円

| 講習番号 | 開設講習名 | 講習概要 | 担当講師 | 開設日 | 対象職種 | 主な受講対象者 | 募集人数 | 申込状況 |
|------|---|---|---|--------|------|------------------------------------|------|------|
| S-31 | 【選択】ジュニア期の運動能力を向上させる「コーディネーショントレーニング」の実践 | コーディネーション能力(調整力)とは平衡性、巧緻性、敏捷性等が各運動課題に合わせて統合された複合能力であり、身体を上手に使うための能力です。この能力を習得し向上させるためには多種多様な運動経験が必要であり、小学校のクラブ活動や保育所・幼稚園・こども園の運動あそびを計画的に行うことが重要です。本講習ではスポーツ科学の講義と実技ワークショップによって現場で実践しやすい「コーディネーショントレーニング」について学びます。 | 川端 悠(幼児保育学科講師) | 12月26日 | 教諭 | 幼稚園・小学校教諭向け | 50 | × |
| S-32 | 【選択】音楽表現にかかわる実践的指導(子どもの発声・弾き歌い・合奏指導・指揮など) | 子どもの資質を尊重した発声、指揮者として必要とされる弾き歌い、ソルフェージュを用いたイングリッシュハンドベル演奏、さらには音楽教育の意義を紐解きながら実践的に表現力の向上を学びます。合奏の指導法では鍵盤ハーモニカによる合奏を通して、曲のアナリーゼ、楽器の奏法、指揮、さらには曲のまとめ方等について、体験しながら講義を進めていきます。 | 附田 勢津子(幼児保育学科教授) 田端 利則(幼児保育学科教授) 中嶋 栄子(幼児保育学科講師) 安田 美央(幼児保育学科講師) | 12月26日 | 教諭 | 幼稚園・小学校教諭向け | 30 | × |
| S-33 | 【選択】上手な絵はやめてよい絵を描こう(デッサン、素描から現代美術まで)～描く楽しさを思い出すために～ | 描く上での「技術力」と「表現力」はしばしば混同されがちですが、上手に描かれていることと、素晴らしい表現になっていることはまったく違う状態なのです。本講習では子どもの表現力を引き出すために、美術史を教育の側面から捉え直し学ぶ座学、デッサンや素描、造形表現の自由度を学ぶ実技演習、最後に参加者が成果を振り返る講評会の3部構成で行います。 | 池田拓馬(幼児保育学科講師) | 12月26日 | 教諭 | 幼稚園・小学校・特別支援学校教諭向け、中学校・高等学校美術科教諭向け | 25 | × |
| S-34 | 【選択】上手な絵はやめてよい絵を描こう(デッサン、素描から現代美術まで)～描く楽しさを思い出すために～ | (講習番号S-33と同じ内容です。) | 池田拓馬(幼児保育学科講師) | 12月27日 | 教諭 | 幼稚園・小学校・特別支援学校教諭向け、中学校・高等学校美術科教諭向け | 25 | × |

《選択領域(短大)》

募集期間 : 平成29年11月16日～12月7日

時間数:6時間

受講料:6,000円

| 講習番号 | 開設講習名 | 講習概要 | 担当講師 | 開設日 | 対象職種 | 主な受講対象者 | 募集人数 | 申込状況 |
|------|--|--|--|--------|------------|------------------------------------|------|------|
| S-35 | 【選択】児童文学の理解と読み聞かせの様々な手法 | 児童文学の簡単な理解から、絵本の持つ力や魅力を再発見し、読み聞かせの様々な技法を再度見直しスキルアップすることによって、現場における子ども達や保護者とのコミュニケーション力を個々が最大限に活かすことを目的に行う。 | 平間恵美(幼児保育学科非常勤講師) | 12月27日 | 教諭 | 幼稚園・小学校・特別支援学校教諭向け | 25 | × |
| S-36 | 【選択】遊びを通した幼児・児童の体力づくりと仲間づくり | 幼児期運動指針や学習指導要領では、幼児、児童が多様な動きや運動能力を獲得することについてその重要性が述べられています。また、そのための活動においては、同時に支援者と子ども、あるいは子ども同士とのコミュニケーションを活性化することも必要です。そこで、本講習ではレクリエーションに関する知識と手法をベースに、体力・運動能力の向上、仲間づくりの方法を実際に体験し、楽しみながら学ぶこととします。 | 名久井勝廣(幼児保育学科非常勤講師) | 12月27日 | 教諭 | 幼稚園・小学校教諭向け | 50 | × |
| S-37 | 【選択】レクリエーション体験学習(コミュニケーションゲーム・ニュースポーツの活用法) | クラス等での一対一、あるいは集団の場面において、相互の親睦を深め、信頼関係を築くための簡単なゲームやその他の手法について、理論と実践方法を学びます。また、最近、健康づくりや参加者相互のコミュニケーションを活性化させるために用いられているニュースポーツについて、いくつかの種目を体験し、その活用法を学びます。 | 三岳 貴彦(ライフデザイン学科講師) | 12月28日 | 教諭 | 幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校教諭向け | 30 | × |
| S-38 | 【選択】音声表現とコミュニケーション(話すこと、上手なコミュニケーション、教科で応用できる音読、朗読、アナウンスの指導) | 声に出して表現すること・聞くことの大切さ、おもしろさを理解してもらうと同時に、その具体的な方法について実践・ワークショップ方式を交えて参加者自ら体験してもらいます。また、人間関係の要となるコミュニケーションスキルの取得や、自己表現が苦手な児童・生徒に対する音声表現の指導方法、読解力を深める音読・朗読の指導方法について学びます。 | 茂木 典子 (ライフデザイン学科教授) 三浦 文恵 (ライフデザイン学科教授) | 12月28日 | 教諭 養護教諭 | 幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教諭向け、養護教諭向け | 60 | × |